

教育・研究業績書

診療科名 日光医療センター消化器内科		
<教員の紹介> 講 師 渡 辺 秀 考 (出 向)		
I 教育活動		
教育実践上の主な業績	年 月	概 要
① 教育内容・方法の工夫（授業評価を含む）		
1. 授業の質の向上に対する取り組み	2004年5月～現在	授業においては、典型的な症例の写真を多数提示している。また、図、表、グラフを用い、理解しやすいように工夫している。さらに、内視鏡検査、診断においては最先端の診断、治療もビデオなどを用い紹介している。さらに、授業の後半には、知識を整理する目的で国家試験の問題を解かせている。
② 作成した教科書、教材、参考書		
1. オリジナルな教材の作成		授業に用いるスライド、ビデオは随時、最先端の知見を挿入し、実際に臨床に用いたビデオなどもいれている。單元ごとに国家試験の問題のうち良問を選びプリントにしている。
③ 教育方法・教育実践に関する発表、講演・その他教育活動上特記すべき事項		

診療科名	職名	氏名	
日光医療センター消化器内科	講師	渡辺 秀考	大学院の研究指導担当資格 有
<b>II 学会等および社会における主な活動</b>			
1990年5月～現在	日本内科学会員		
1990年5月～現在	日本消化器病学会員		
1990年5月～現在	日本消化器内視鏡学会員		
2007年5月～現在	日本消化管学会員		
<b>III 研究活動</b>			
<b>【学位論文】</b>			
<b>【著 書】</b>			
<b>【原 著】</b>			
欧文			
1. <u>Watanabe H</u> , Hiraishi H, Koitabashi A, Sasai T, Kanke K, Oinuma T, Otsuka Y, Watanabe Y, Suzuki Y, Terano A: Endoscopic papillary balloon dilation for treatment of common bile duct stones. Hepatogastroenterology 51: 652-7, 2004.			
2. <u>Watanabe H</u> , Yoneda M, Tominaga K, Monma T, Kanke K, Shimada T, Terano A, Hiraishi H: Comparison between endoscopic papillary balloon dilatation and endoscopic sphincterotomy for the treatment of common bile duct stones. J Gastroenterol 42: 56-62. 2007.			
3. <u>Watanabe H</u> , Watanabe N, Ogura R, Nishino N, Saifuku Y, Hitomi G, Okamoto Y, Tominaga K, Yoshitake N, Yamagata M, Orui M, Hiraishi H. A Randomized Prospective Trial Comparing Unsedated Endoscopy via Transnasal and Transoral Routes Using 5.5-mm Video Endoscopy. Dig Dis Sci. 11:2008. [Epub ahead of print]			
4. Hitomi G, <u>Watanabe H</u> , Tominaga K, Yoshitake N, Suzuki M, Maeda M, Yamagata M, Kanke K, Nakamura T, Masuyama H, Hiraishi H. Endoscopic submucosal dissection in 100 lesions with early gastric carcinoma. Hepatogastroenterology 56:254-60, 2009.			
<b>【症例報告】</b>			
和文			
1. 藤井陽一朗, 鈴木保永, 石川潤, 須藤康司, 米倉悦子, 小板橋綾子, 中野道子, 三橋孝宏, 知花洋子, 笹井貴子, 生沼健司, 菅家一成, 渡辺秀考, 渡辺喜人, 飯島誠, 平石秀幸, 寺野彰: プチル-2-シアノアクリレートを用いた内視鏡的硬化療法が有効であった出血性十二指腸静脈瘤の2例. Dokkyo Journal of Medical Sciences 32 63-69, 2005.			
2. 寺内政也, 菅家一成, 吉竹直人, 塩屋雄史, 眞島雄一, 小嶋和夫, 笹井貴子, <u>渡辺秀考</u> , 玉野正也, 飯島誠, 平石秀幸: 保存的に治療しえた門脈血栓を合併する上腸間膜静脈血栓症の1例. Dokkyo Journal of Medical Sciences: 34 231-238, 2007.			

3. 小池健郎, 菅家一成, 石川潤, 森田賀津雄, 笹井貴子, 鈴木保永, 渡辺秀考, 平石秀幸: 経過中に黄色腫様形態を呈した早期胃癌の一例. Dokkyo Journal of Medical Sciences 34 63-68, 2007.
4. 渡辺秀考, 人見玄洋, 平石秀幸: 【診断ピットフォール 症例から学ぶ】 消化器 下血 下血の原因として小腸腫瘍も忘れずに. 内科 99 1244-1245, 2007.
5. 渡辺秀考, 人見玄洋, 平石秀幸 【診断ピットフォール 症例から学ぶ】 消化器 下血 肝硬変の合併症として十二指腸静脈瘤も忘れずに: 内科 99 1241-1243 2007.
6. 小嶋和夫, 熊谷今日子, 内園まり子, 藤井陽一朗, 小池健郎, 草野浩治, 渡辺秀考, 室久俊光, 玉野正也, 平石秀幸: Mesalazineによる薬剤性膵炎を合併した腸管Behcet病の1例. Dokkyo Journal of Medical Sciences: 35 121-125, 2008.
7. 菅谷武史, 富永圭一, 渡辺秀考, 菅家一成, 室久俊光, 増山仁徳, 中村哲也, 菅谷仁, 平石秀幸: H. pylori除菌抵抗性MALTリンパ腫に対して放射線療法が有効であった1例. Progress of Digestive Endoscopy: 72 64-65, 2008.

### 【総 説】

和文

1. 渡辺秀考, 平石秀幸: 【内科疾患の診断基準病型分類・重症度】 消化管 食道癌の診断基準・病型分類・重症度(解説/特集) 内科 95 Page1072-1076, 2005.
2. 渡辺秀考, 平石秀幸: 【がん】 胃癌(解説/特集). Dokkyo Journal of Medical Sciences 32:163-171, 2005.
3. 平石秀幸, 山形道子, 菅家一成, 渡辺秀考, 米田政志, 島田忠人: NSAID潰瘍とPPI(解説). 潰瘍 33:74-77, 2006.
4. 渡辺秀考, 平石秀幸, 寺野彰:日本のプライマリ・ケア よくある健康問題 100】 疾患編 どう関わる?悪性腫瘍 15 食道癌(解説/特集) 総合臨床 55 巻増刊 Page1061-1066, 2006.
5. 渡辺秀考, 菅家一成, 森田賀津雄, 平石秀幸 【日常診療での疑問や噂にズバリ答えます! The Truth of Rumors】 消化管 内視鏡的にポリペクトミーを行うときには抗血小板や抗凝固薬は中止すべきなのか?(解説/特集). 治療 88 巻3月増刊 1034-1036, 2006.
6. 平石秀幸, 山形道子, 菅家一成, 渡辺秀考, 島田忠人: 【日常診療で診るH. pylori】 消化性潰瘍におけるH. pyloriとNSAIDとの関係. 実験治療 688: 21-26, 2007.
7. 平石秀幸, 渡辺秀考, 前田光徳, 山形道子, 田嶋章弘, 菅家一成, 島田忠人: 【整形外科医のためのcareとcure RAのtight controlを目指して】 整形外科医のための標準薬物治療の基礎知識 NSAID潰瘍の予防と治療のガイドライン. 骨・関節・靭帯 20: 1101-1107, 2007.
8. 平石秀幸, 乾裕子, 山形道子, 菅家一成, 渡辺秀考, 米田政志, 島田忠人: 発症を防げ! NSAID起因性潰瘍. 高崎医学 57: 79-82 2007.
9. 中村哲也, 生沼健司, 渡辺秀考, 室久俊光, 玉野正也, 平石秀幸, 寺野彰: 【超高齢者の内視鏡】 超高齢者消化管癌に対する光線力学的療法(PDT)の有用性と問題点. 消化器内視鏡 20: 1722-1727, 2008.
10. 増山仁徳, 石田基雄, 森田賀津雄, 藤井陽一朗, 小嶋和夫, 鈴木保永, 漆原邦之, 鈴木卓爾, 渡辺秀考, 平石秀幸: Helicobacter pylori陽性胃潰瘍に対する除菌治療後のマレイン酸イルソグラジンによる潰瘍治療効果の検討. Therapeutic Research 29: 415-422 2008.
11. 渡辺秀考, 渡辺菜穂美, 小倉利恵子, 西福康之, 人見玄洋, 岡本裕, 大類方巳, 中村哲也, 平石秀幸: 【経鼻内視鏡は本当に楽なのか?】 極細径経口内視鏡との比較 消化器内視鏡 20: 419-425 2008.

【その他】